

8	ヤンバルクイナ保護の現場視察		
担当講師名	新垣裕治（名桜大学国際学群）		
講座の趣旨	<p>ヤンバルクイナはマングースの捕食により分布域の減少及び個体数を減じている。他の要因としてノラネコ、カラス等による捕食や交通事故を上げることができる。これら要因に対し様々な取組みがなされている。大宜味村塩屋湾と東村福地ダムの間にはマングースの北上を妨げるフェンスが設置され、国頭村安田にはヤンバルクイナ・シェルターが建設され、普及・啓発施設としてヤンバルクイナ自然生態展示施設も完成している。交通事故を防ぐための試みも行われている。この講座では、これら施設をマイクロバスで巡りながら見学し、ヤンバルクイナを取巻く様々な環境についての理解を深め、在来種の保護と移入種について考える機会を提供する。</p>		
開催日時	平成30年7月7日（土）9：30～17：00		
受付期間	平成30年5月7日（月）～6月29日（金）		
受講対象者	一般市民（小学生以上） ※小・中学生は大人同伴 25名	場 所	北部生涯学習推進センター前 駐車場集合
講座内容	<p><b>【内容】</b>          名桜大学発（09：30）→マングース侵入防止フェンス広場（大宜味村大保）          →東村物産センター（休憩）→福地ダム洪水吐き（東村）→ヤンバルクイナ・          シェルター/生態展示施設（国頭村安田）→クイナフェンス（国頭村奥）→辺          戸岬（国頭村）→国頭村道の駅（国頭村）→名桜大学着（17：00）</p>		
備 考	入館料：500円（自己負担）、弁当持参		